

第55回シニア県展の入賞作品について

1 趣旨

この美術展は、作品創作をとおして高齢者の生きがいくりと積極的な社会参加の推進を目的として毎年開催しています。

8月28日の審査の結果、今年度の受賞者が決定したので発表します。

2 出品点数及び入賞点数

種目	出品点数	入賞点数					
		最優秀賞	金賞	銀賞	銅賞	佳作	計
日本画	19	1	1	1	1	2	6
洋画	47	1	1	1	1	3	7
書	17	1	1	1	1	2	6
工芸	25	1	1	1	1	2	6
写真	45	1	1	1	1	3	7
計	153	5	5	5	5	12	32
最高齢者賞	男性1名、女性1名						2
奈良県社会福祉協議会特別賞							5
総計							39

3 最優秀作品

(敬称略)

日本画： 高谷 宣孝 「薄暮」
 洋画： 今中 克子 「あずさ川のほとり」
 書： 伊延 正孝 「白居易詩二首」
 工芸： 神川 宏 「花器」
 写真： 袋井 斉 「観衆を乗せて」

4 最高齢者賞

男性： 工 芸 今西 一夫 (92歳)
 女性： 洋 画 奥田 富佐子 (91歳)

※過去に最高齢者賞を受賞した方の作品は除く

※90歳以上の出品は9点

5 表彰式

(1) 日時 令和8年9月1日(火) 10:30～11:00

(2) 会場 大和高田市文化会館(さざんかホール) 小ホール

6 作品展示

(1) 期間 令和8年8月29日(土)～9月2日(水) 9:30～16:00

※8月31日(月)は休館日

(2) 会場 大和高田市文化会館(さざんかホール) 展示ホール

第 55 回シニア県展 審査員講評

【日本画の部】

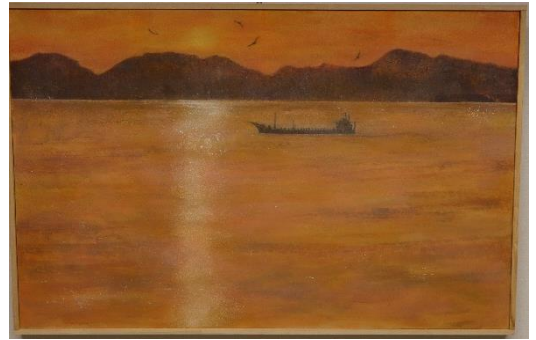
出品作品が減少しましたのが残念ですが、風景画・花鳥画・水墨画に充実した作品が見られました。
自分なりのテーマ、モチーフで写生をしっかり積み重ねて、制作に入っている作品が受賞されました。

＜最優秀賞＞：高谷 宣孝 「薄暮」

風景をテーマに新たな挑戦です。

写生からエスキースへ、また制作へとしっかり
検討された様子がわかります。

シンプルな表現ですが、画面の密度が高い作品です。



【洋画の部】

今年の出品数が昨年よりも少なかったのは残念ですが、出品作品を見ると、どの作品も作者の思い、考えが画面全体から伝わってくる作品で嬉しく思いました。

水彩絵の具の透明性をいかした美しい表現や油絵の具で幾度も書き込まれた重厚な作品、マチエールを工夫した作品、色調を統一された魅力的な作品など、回を重ねるごとに表現内容も充実してきたように感じます。

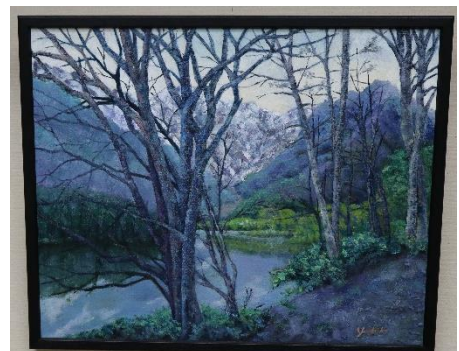
何を表現するか、いかに画面構成するかを考え、今年以上に出品数が増えることを願います。

＜最優秀賞＞：今中 克子 「あずさ川のほとり」

とても描き慣れた方だと感じました。色使い、タッチ、風景のとらえ方などよく描かれ、見る人を魅了します。

色は青系の中に控えめに暖色も使い全体よく調和しています。描き方もナイフ、筆を巧みに使い面白く描かれ、見入ってしまうようなとても良い作品です。

今後更に研鑽され大作にも挑戦されること期待します。



【書の部】

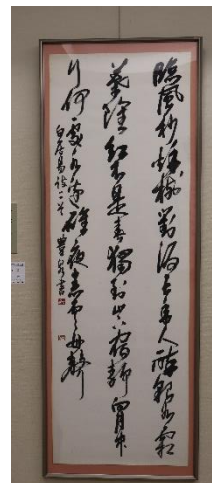
昨年より3点減の17点の出展がありました。書の各分野からは様々な作品が出展されました。

書作品はまず誤字を書かないことが重要であり、紙面における章法（おさめ方）にも配慮が必要です。また、練度の深さが作品の良さを高めます。

今回入賞された方の作品は概ね以上のことが達成されていました。

＜最優秀賞＞：伊延 正孝 「白居易詩二首」

白居易詩二首を、明清作家の条幅作品の形態に習い、行間を広く取り、潤滑の変化を考えながら軽快な運筆をもって仕上げた秀作です。



【工芸の部】

今年は出品数が少し減少し、残念に思いますが、92歳の今西さんのように、年齢を感じさせない幾何学的な形でトリッキーに表現されていて素晴らしいと思いました。

また、陶芸を始め様々な手法で力強く表現されている印象を受けました。

来年にも期待したいと思います。

＜最優秀賞＞：神川 宏 「花器」

この作品は磁土を胎土とし、造形はロクロ仕上げをしています。表面的造形は波状の丁寧な片切り彫りをほどこし、青磁釉の美しいリズム感を表現した優秀作品です。



【写真の部】

応募作品が昨年度よりやや増加していて喜ばしいです。

近年のデジタルカメラの多機能を活かした作品もあり、審査員でいろいろ協議させていただきました。

また、ピントの甘さが目立ち賞を逃されたのが残念です。

コントラスト、彩度の上げすぎもあり、今後の撮影に取り組んでください。

<最優秀賞>：袋井 斉 「群衆を乗せて」

窓は実像の窓でなく、虚像の群衆に置き替えたアレンジメントが素晴らしく、題名の「観衆を乗せて」も作者の感受性が増幅し、今までに無い目の付け所に感銘を受けました。

自己観察力の豊かさがにじみ出た秀作です。



第 55 回シニア県展最高齢者賞作品

男性最高齢者賞 今西 一夫 92 歳

工芸:「四角と丸の考える知恵の輪」



女性最高齢者賞 奥田 富佐子 91 歳

洋画:「私の好きなあじさい」

